

部局名	安全環境部			所属名	清掃センター			所属長名	笠川 博明			電 話	483-4521		
-----	-------	--	--	-----	--------	--	--	------	-------	--	--	-----	----------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3937		事務事業名称	一般廃棄物処理施設周辺環境対策事業							短縮コード	経常		臨時	3937
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費			
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市一般廃棄物処理施設周辺環境事業補助金交付要綱								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）															
遮水シートの破損に伴う周辺地域の地下水汚染が懸念された為、八千代市一般廃棄物処理施設周辺環境対策事業補助金交付要綱に基づき、井戸水から市営水道に切替工事に掛る費用の一部を補助する事業である。															
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして							
市営水道への切替実施者が増加する。						大項目（節）	03	環境・衛生							
						中 項 目	02	ごみ処理							
						小項目（施策）	02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進							
						細 項 目	02	焼却施設等の整備							
実 施 計 画 の 計 画 事 業															
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	最終処分場周辺（上高野及び村上の一部）で平成14年4月1日時点で市営水道へ未接続で、屋内の生活用水を市営水道へ切換えを行う世帯。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 申請者から申請書と給水装置の申込書、工事に係わる図面、工事施工業者の見積もりを提出してもらい、水道局の積算と工事施工業者の見積を比較して、工事費が安価な方の9／10を市で負担する。							
	※平成21年度に計画していること： 同上							
意図 （何を狙っているのか）	最終処分場の遮水シートの破損に伴い、地下水への影響が懸念された為、生活用水を市営水道に切り替えることで「地域住民等の生活環境の安全の確保」を図ることが出来る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	屋内の生活用水を市営水道へ切換えを行う世帯	世帯	102	102	102	102	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	補助金申請件数	件	0	3	1	0	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	補助金交付件数	件	0	5	1	0	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3937	事務事業名称	一般廃棄物処理施設周辺環境対策事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			処理件数が少ないため、現職員で対応が可能なため。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止（事業完了含む）								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			交付対象世帯の切替が完了するまでは不変の予定。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特になし									

所属長コメント	最終処分場恒久対策工事が終了するまでは必要な事業である。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止（事業完了含む）									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									